

とにかく

強い人と打ちたい

古賀 和輝くん アマチュア棋士(大星和)

小学校一年生のとき、友だちに「将棋で遊ぼう」と誘われた。それが和輝くんと将棋との出会い。当時ルールも知らなかった和輝くんは、惨敗。しかし、それが彼の心に火をつけました。「くやしい、絶対勝つてやる」と決心し、宗光寺の植田茂夫先生の門をたたきました。以来五年、師のもとで腕を磨き、いつしか大仁北小では敵なしになり、そして、昨年の市民文化祭の将棋大会・小学生の部で全勝優勝の快

MY WAY

挙を成し遂げることになりました。「でも、お父さんの友だちにも強いおじさんがいて、ほとんど勝てません。市外の大きな大会では年下に負けていますね」と、この世界の広さも知っています。中学一年生になった今年の市将棋大会では、一般の部で大人に混じって戦う和輝くん。「とにかく強い人と打ちたい。そして勝ちたいです」。彼に挑戦する棋士を広く求めます。



* 10 / 28(日)市民文化祭の将棋大会では参加者を追加募集中。問い合わせは、社会教育課(電話 055 948 1460)まで。

パパっれんじゅ!!

親子におすすめのピンポイント情報

その六



6月に改修工事を行い、広くなった『じどうコーナー』

読書の秋は親子で図書館へ出かけましょう。中央図書館に入ると、右側に『じどうコーナー』があります。

また、毎月第二土曜日十一時には、ボランティア団体『星の会』と図書館司書による『おはなし会』を開催。多くの蔵書の中から、そのとき訪れた子どもたちにピッタリの絵本を選んで読んでくれます。生の声の朗読は、子どもたちの心にやさしく響きます。パソコンや電子ゲームなどデジタル全盛の現代ですが、たまには親子でアナログの良さを体験してみるのもいいかもしれませんね。



月1回の『おはなし会』。次回は10月13日(土)の11:00~11:30に開催。

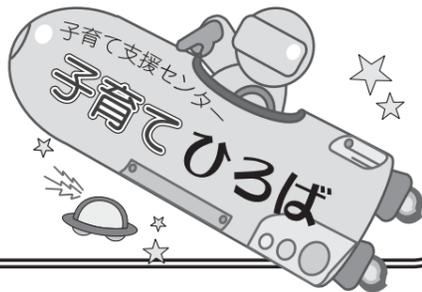
問合せ 中央図書館
電話0558(76)5566

ひまわりひろば

(ひまわり保育園大仁分園 地域子育て支援センター)
大仁 229 1 電話 0558 76 1173
月~金 9:00 ~ 11:30、13:30 ~ 16:00

10月のぎょうじ

- 2日(火) リズム遊び
 - 4日(木) 絵本の読み聞かせ
 - 9日(火) 製作(0~1歳児)
 - 10日(水) 製作(2~3歳児)
 - 16日(火) ミニ運動会(10:00~)
 - 19日(金) 避難訓練
 - 24日(水) 誕生会
 - 26日(金) 公園へ行こう*
 - 30日(火) クリーン作戦
- * 9:30 ~ 狩野川記念公園に現地集合、現地解散(雨天中止)、行事の時間はいずれも午前中防犯訓練を予定しています(日にち未定)。



すみれひろば

(地域子育て支援センターすみれ)
四日町 234 1 電話 055 949 0823
月~金 9:00 ~ 11:30、13:30 ~ 16:00

10月のぎょうじ

- 1日(月) 絵本の読み聞かせ
 - 4日(木) 子育て講演会
 - 10日(水) 公園へ行こう*
 - 12日(金) 誕生会
 - 17日(水) リズム遊び
 - 19日(金) 避難訓練
 - 23日(火) 十三夜・防犯講習会
 - 25日(木) 製作
 - 29日(月) 身体測定
 - 31日(水) クリーン作戦
- * 9:30 ~ 狩野川記念公園に現地集合、現地解散(雨天中止)、行事の時間はいずれも午前中

なかよしひろば

(慈恵保育園地域子育て支援センター)
白山堂 171 2 電話 0558 76 2552
月~金 9:00 ~ 17:00
(園庭開放は9:00 ~ 11:30)

10月のぎょうじ

- 6日(土) よーいどん(園行事に参加。事前申し込みが必要)
- 天気の良い日は園庭で絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。相談専用電話では、子育ての悩み相談に、専門の保育士が応じます。ご利用ください。
相談専用電話 0558 76 2656

詳しくは各園までお問い合わせください。



市では、子育てを支援する『地域子育て支援センター』を3カ所開設しています。親子で来園して楽しく遊んだり、友達を作ったり、保護者の育児情報交換の場としてご利用ください。市内に住所があり、小学校就学前までの幼児と保護者なら、どなたでも無料で利用できます。また『子育て相談』もありますので、お気軽にどうぞ。



その5 8020達成者に聞く

8020達成者で、歯周病予防対策委員でもある近田みよ子さん(三福)。八十歳になった現在でも、親知らずを除く二十八本中二十七本がご自分の歯という彼女に、達成のコツを聞きました。

Q 特別な歯の手入れは?

A 特に何もしてきませんでしたが、子どものころも、大人になってからも頻りに歯医者へ通った記憶はありません。丈夫に産んでくれた親に感謝しています。ただ六十代の終わりに、歯医者さんに「今これだけ自分の歯があれば、一生入れ歯にならない」と言われたのをきっかけに、半年に一回検診を受けています。歯みがきは一日三回、歯ブラシは普通のものを使っています。替えます。ちょっとおかし

が、先が開いてきたらすぐに替えます。ちょっとおかし

と感じた部分があったら、丹念にみがきます。

Q 歯で不自由を感じたことは?

A ありません。昔から硬いものが好きで、小梅の種まで噛んだり、炒った大豆や乳製品もよく食べました。そうやって歯を使っていたのがよかったのかも。同年代の人は、やわらかい物も小さく刻んで食べる人が多いですが、私は何でもそのまま食べられます。

Q 市民の皆さんに一言

A この前委員会、ねんりんピックに出る人は歯が多いと聞きました。私が元気で、若い人たちと一緒に行動できるのは、歯が丈夫なおかげかもしれません。歯があることのすばらしさ、歯周病予防の大切さを、皆さんにもっと知ってもらいたいですね。

問合せ 健康づくり課
電話0558(76)8014